



APOLLO
MEDICAL HOLDINGS

海外研修だより

～薬剤師だって、空を飛ぶ～



視察内容

視察地：ロサンゼルス

日程：2016年6月4日～6月10日

1日目 ワインレセプション

HMIセミナーの目的
ケーススタディの概要



2日目 市内視察

3日目 座学

- 医療保険の概要
- PBMについて
- リフィル処方について
- 薬局の形態について



4日目視察

- 大手チェーン薬局視察
 - Walgreens Pharmacy：ドライブスルー付薬局
 - Rite Aid(ライトエイド)：大型ドラッグストア
 - CVS(シーヴィエス)：大型ドラッグストア
- リテール薬局視察(AltaMed Pharmacy)
- クローズド薬局(メールオーダー薬局と
スペシャリティ薬局)視察

5日目ケーススタディ発表

視察内容

■アメリカの医療保険の概要

民間保険		政府保険		無保険者
インデムニティ型 (個人で買う保険)	マネージドケア型 (HMO or PPO)	メディケア (高齢者:65歳以上)	メディケイド (貧困層)	
1億7,000万人 (54%)		4,600万人 (15%)	4,900万人 (15%)	4,800万人 (15%)

- ・アメリカは日本のように国民皆保険ではない。
- ・医療保険には、大きく雇用主が掛けるものと政府が掛けるものがあるが、多くの国民は、雇用主が保険を掛けることで民間保険に加入している。
- ・政府保険は、65歳以上の高齢者向け(64歳以下の脳梗塞などに夜身体障害者を含む)のメディケアと、貧困層向けのメディケイドがある。
- ・2014年から医療制度改革[ACA](オバマケア)がスタートした。無保険者を減らすことが目的であり、無保険者の割合は18.0%から約1年で11%まで下がった。
- ・民間保険、政府保険の多くは、PBMを通じて医療費(薬に関する分)の支払いが行われている。

■医薬品の発注

アメリカには医薬品の3大卸があるが、当薬局ではAmeriSource Bergenとシングルベンダー契約(約99%)をしていて、その契約に基づく価格で購入している。発注は薬剤師でもテクニシャンでも行うことができる。卸の在庫がリアルタイムで分かるインターネット端末で必要な薬の在庫を確認して発注する。後発品メーカー別にいくつかの種類があるので、在庫がある中で一番安いものを選んで発注することができる。・1日1回の配達であり、日本のように卸に電話すれば1~2時間後に納品されるわけではない。夜9時まで注文すれば、翌朝10時まで配達される。急ぎで必要になった場合は、午後12時まで発注すれば17時まで配達されるが、その際は配送料(1回25ドル)がかかる。

参加者からの感想



現在の日本は、急激な高齢化・人口減少の真っ只中にあり、薬局・薬剤師を取り巻く環境は劇的なスピードで変化しています。今後10年間で世界がどう変わっていくかは、まったく予測できません。AIやロボットが発達すると薬剤師の仕事はなくなってしまいかもかもしれません。

相手の期待を上回るサービスが提供できれば、そこには感動が生まれます。地域のかたがたの心を震わせる存在になるには、どうすればよいかを考えることが、差別化につながっていくのだと思います。